

記入例

●●年●月●日

エネルギー産業創出促進事業補助金
「事業化調査検討」編 事業計画書

大阪府知事 様

所在地 〒559-8555 大阪府●●市●●区●●0-0-00
名称 株式会社 ●●
代表者名 ●●

標記について、以下のとおり関係書類を添えて提出します。

1 実施体制

注) 採択された場合、申請者のみならず、実施体制のすべての名称が大阪府のHPで公開されます。

(1) 申請者 (代表事業者)

企業の概要	名称	株式会社 ●●		
	所在地	〒XXX-XXXX 大阪府●●市●●区●●0-0-00		
	担当者役職・氏名	●●部 部長 ●● ●●		
	ホームページ	http://www.osaka.com/jp/		
	電話	06-XXXX-XXXX	E-mail	0000@osaka.jp
	資本金	1,000億円	従業員数	20,000人
	業種 (主要なもの)	製造業		

(2) 共同事業者

注) 共同事業者がいる場合のみ記載してください。共同事業者の数に応じて表を追加してください。

企業の概要	名称	株式会社 △△		
	所在地	〒XXX-XXXX 大阪府●●市●●0-0-00		
	担当者役職・氏名	●●開発部 部長 ●● ●●		
	ホームページ	http://...		
	電話	0XX-XXXX-XXXX	E-mail	XXXX@osaka.jp
	資本金	2,500億円	従業員数	30,000人
	業種 (主要なもの)	製造業		
企業の概要	名称	株式会社 ■■		
	所在地	〒XXX-XXXX 大阪府●●市●●0-0-00		
	担当者役職・氏名	●●センター 所長 ●● ●●		
	ホームページ	http://...		
	電話	0XX-XXXX-XXXX	E-mail	XXXX@XXXX.jp
	資本金	300億円	従業員数	5,000人
	業種 (主要なもの)	運輸・物流		

(3) 協力事業者（営利企業以外の事業者をいいます。例：大学・研究機関等）

注）協力事業者がいる場合のみ記載してください。協力事業者の数に応じて、表を追加してください。

事業者の概要	名 称	公立大学法人 ●●大学 ●●研究センター		
	所在地	〒XXX-XXXX 大阪府●●市●●0-0-00		
	担当者役職・氏名	●●研究グループ 研究リーダー ●● ●●		
	ホームページ	http://...		
	電話	0XX-XXXX-XXXX	E-mail	XXXX@XXXX.jp
事業者の概要	名 称			
	所在地	〒		
	担当者役職・氏名			
	ホームページ			
	電話		E-mail	

事業化調査検討を行う
場所を記載

2 計画概要

(1) 事業名称	大阪港湾部における水素供給拠点事業の事業化調査検討
(2) 事業実施場所	大阪府●●市●●区●●0-0-00（株式会社●● 大阪△△センター）
(3) 調査検討実施期間	交付決定日から令和7年3月31日まで
(4) 分類	<p>※国のGX実現に向けた投資促進策を具体化する「分野別投資戦略」における重点16分野より、対象となる分野を記載してください。 （経済産業省HP）</p> <p>https://www.meti.go.jp/press/2023/12/20231222005/20231222005.html 「水素等」</p>
(5) 事業化調査検討の概要	<p>※事業化構想に対して実施する調査、検討の概要を記載してください。 採択された場合、記載内容の概要が大阪府のHPで公開されます。</p> <p>大阪港湾部での水素受入・貯蔵施設及び周辺工場等への供給拠点整備、及び供給事業の実施に向けた、水素需要量の推計、利活用形態に応じた供給事業スキーム及びシステム構成概要検討に関して、検討会議開催、有識者への意見聴取、地域事業者等を対象とした説明会及びヒアリング調査、これらに付随する委託調査等を実施する。</p>
(6) 調査検討対象事業の内容と目標等	<p>①調査検討対象事業の概要</p> <p>※調査検討対象事業の背景や想定内容、時期等について記載してください。 採択された場合、記載内容の概要が大阪府のHPで公開されます。 必要に応じ、事業の具体的な内容を記載した計画書（様式自由）を添付してください。</p> <p>大阪府域の港湾部には株式会社△△の製造工場や、株式会社■■の物流ターミナル、その他加熱工程で化石燃料を使用する事業所が複数あり、これらの事業の脱炭素化のため、低炭素水素を大量に受入・貯蔵し、管路輸送または車両による配送システムにより水素を供給する。事業開始に向けては、施設側において水素利活用が可能な設備への置き換えや改造等にも取り組む。</p> <p>大阪府域の港湾部において、船舶からの水素受入のための荷役施設、貯蔵施設、パイプライン搬送施設、液化水素・圧縮水素車両積載施設等を2030年頃までに整備し、併せて同施設周辺の港湾部においてパイプラインを整備し、水素の供給を開始する。</p>

	<p>②調査検討対象事業の目標と効果</p> <p>※調査検討対象事業の規模等の目標と、地域への波及効果やカーボンニュートラルへの貢献等の見込まれる効果を具体的に記載してください。</p> <p>できる限り数値等により、定量的に記載してください。</p> <p>必要に応じ、具体的な内容を記載した計画書（様式自由）を添付してください。</p> <p>2030年までに水素供給拠点を整備し、供給開始時点で年間約〇〇m³以上の水素ガスの供給量をめざす。</p> <p>大阪港湾部で化石燃料による熱や電力を利用する製造事業所、物流ターミナルを利用するFCトラック向けの水素充填ステーション等に対して低炭素水素を出荷し、製造業及び運輸部門におけるCO₂排出削減に貢献する。株式会社△△の製造工場においては、低炭素水素の活用により、2030年代前半頃には年間約〇〇t以上のCO₂排出削減をめざすことを検討する。その他、内陸部等の中小規模の供給拠点に対しても出荷し、その周辺域の製造事業所や建築物の定置型燃料電池向けに供給する。</p>
	<p>③事業化に向けた課題と対応方法</p> <p>※事業化に向け活用を想定する国の支援事業の内容についても記載してください。</p> <p>資源エネルギー庁の「水素等供給基盤整備事業」の活用を予定している。</p>
<p>(7)調査検討の実施体制と役割分担</p>	<p>※調査検討について、申請者、共同事業者、協力事業者、委託先等の各主体の具体的な実施内容及び関わりについて記載してください。</p> <p>株式会社●●：水素供給拠点事業のスキーム・システム構成概要検討（共同事業者）</p> <p>株式会社△△、株式会社■●：エネルギーの水素転換（利活用）に対応した供給システム検討（協力事業者）</p> <p>公立大学法人●●大学 ●●研究センター：水素需要量の推計等</p>

(8) 調査検討のスケジュール	開始から終了までの調査検討スケジュールを記載してください。調査検討項目と実施主体について簡潔に記載してください。													
	項目	月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	必要事業費(千円)
	調査委託			⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒				3,400
	検討会議開催 有識者ヒアリング				⇒	⇒		⇒	⇒			⇒	⇒	1,700
	事業スキーム・ システム構成検討					⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	500
	利活用に対応した 供給システム検討			⇒	⇒	⇒	⇒	⇒						400
	水素需要量推計								⇒	⇒	⇒			0
	合計 事業費													6,000

3 経費配分案

(1) 経費配分案

(単位：円)

経費区分	細目	補助事業に要する経費	補助事業申請額	備考
調査 検 討 費	調査委託費 ・委託費	3,400,000	1,700,000	
	調査検討事務費			
	・謝金	700,000	350,000	
	・旅費	300,000	150,000	
	・資料購入費	50,000	25,000	
	・印刷製本費	300,000	150,000	
	・通信運搬費	300,000	150,000	
	・会場借上費 ・その他経費	500,000 450,000	250,000 225,000	
合計	6,000,000	3,000,000		

※専ら補助事業の実施に必要な経費のみ計上可能

(2) 補助金以外の経費負担（補助事業の経費のうち補助金で賄われる部分以外に関する経費）

負 担 者	株式会社●●	負担方法	借入金による
負 担 額	補助事業に要する経費－補助事業申請額＝負担額 2,800,000 円		

負 担 者	株式会社△△	負担方法	自己資金による
負 担 額	補助事業に要する経費－補助事業申請額＝負担額 100,000 円		

負 担 者	株式会社■	負担方法	自己資金による
負 担 額	補助事業に要する経費－補助事業申請額＝負担額 100,000 円		

4 他の補助金等の申請状況について

同一の調査検討を他の補助金や助成金等に申請中又は申請予定がある場合は、その名称等を記載してください。

〔上記の補助金や助成金等の交付を受けている場合、又は受けることが決まっている場合は、応募することはできません。〕

補助金・ 助成金等の名称等	●●●●助成金（募集機関：●●） 又は 申請予定なし		
申請（予定）日	●●年●月●日	交付決定予定日	●●年●月●日